

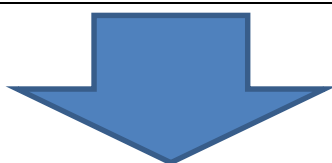
# 令和3年度 授業改善推進プラン

台東区立台東育英小学校

## ○ 第5学年

### 1 児童の状況及び実態

- ・物語文を読む学習に意欲的である。漢字学習では、前学年までの漢字を文章中で使うことが難しい。説明文では、難しい語彙に躓き、長文の内容を理解できない児童が多い。話し合い活動では、相手の意見を聞くことは好きだが、考えを伝えることには苦手意識のある児童が目立つ。(国語)
- ・意欲的に問題を解く様子が見られる。既習内容の定着には差があり、掛け算や割り算の筆算のような基礎的な内容が身に付いていない児童もあり、1学期からの復習で力を伸ばしている。(算数)



### 2 指導についての課題

#### 【知識及び技能】

- ・読んだり書いたりする活動を、毎時間の授業に計画的に組み込む機会が不足している。(国語)
- ・学んだことを生かして、自力解決する時間が不十分である。(算数)

#### 【思考力、判断力、表現力等】

- ・児童に考えさせる内容を焦点化し、児童の活動内容を明確に提示することが不十分である。(国語)
- ・児童の考えを揺さぶる発問や教材開発が不十分である。(算数)

#### 【学びに向かう力、人間性等】

- ・内容の理解には個人差があるが、どの児童も達成感をもてるような、発問や授業の進め方の工夫が不十分である。(国語、算数)



### 3 授業改善に向けての具体的な方策

#### (知識・技能)

- ・前学年までの復習を含め、漢字学習に日常的に取り組む活動を取り入れる。文章中で日常的に漢字を使うよう声掛けする。説明文の構造の捉え方を提示し、それらの方法を使って読み取らせる。(国語)
- ・毎回の授業後半で練習問題に取り組みせ、学んだことの定着を促す。(算数)

#### 【思考・判断・表現】

- ・説明文の構造を考えながら読み、重要な言葉に着目して要旨を捉える学習を繰り返す。(国語)
- ・公式の意味を説明させたり、既習事項を使って問題の解き方を考えさせたりする。(算数)

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・躓きやすい語句や文章を丁寧に取り上げて理解させ、説明文等に対する苦手意識がなくなるようにする。難しい内容を理解できたという経験を重ねさせる。(国語)
- ・友達と共に考える中で様々な考え方に触れさせ、問題解決の面白さを味わわせる。(算数)